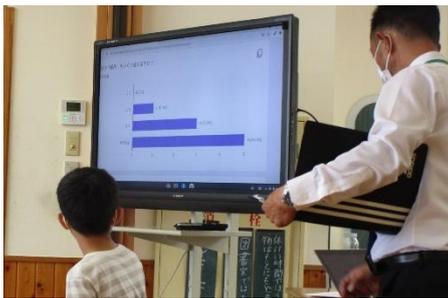


ICTを活用

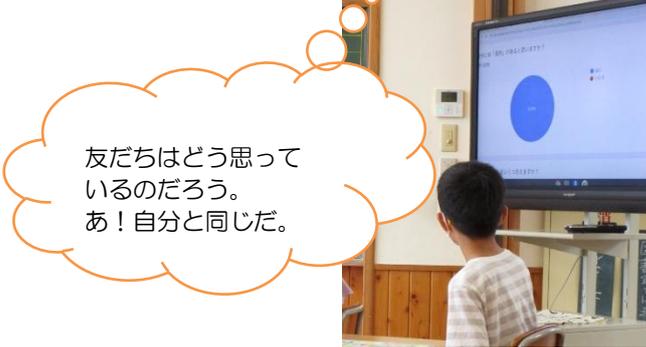
導入でアンケート結果を提示して課題につなげる

段階	学習活動	発問・主発問・補助発問と児童の心の動き	T1 発問・音読	T2 読書・発問	留意点(※)
導入	1. アンケートから、「長所と短所」について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○ アンケート結果を見てどう思いましたか。 ○ 自分のよいところだけでなく短所も知っている人が多い。 ○ 自分のいいところをたくさん知っている。 ○ みんな、「短所を改善したい」と思っていた。 ○ 「個性」って何だろう？ ○ 自分の特徴。長所も短所もあわせて個性。 			<ul style="list-style-type: none"> ○ アンケートの結果から、自分の考えを自由に話させる。 ※動画「高速縄跳び八の字」を視聴しながら。
展開	2. 「あざせ百八十回」を読み、「二人」の言動について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 愛菜さんと奈々子さんはどんな子でしょうか。 ○ 愛菜さんは時間やままりを守る子。 ○ まじめな子。 ○ 口調が。 ○ 奈々子。 ○ 愛菜。 ○ 奈々子。 <p>中心発問：愛菜さんが変わったのはなぜでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 雰囲気を悪くしてしまったことを悪いと思ったから。 ○ 奈々子さんが時間を守っていた姿から、自分も変わらなくてはいけないと思ったから。 ○ みんなの心が一つになったと思ったから。 ○ 二人が変わったから、みんなの気持ちが前向きになってる。 ○ 奈々子さんの姿を見て自己を振り返ることができたから。(まびしすぎた) ○ 奈々子さんも変わっていた(変わろうとしていた)から。 ○ 愛菜さんは間違っていたのだろうか？ ○ 愛菜さんは正しいけど、少し変えたほうが良かった。(全部を変えたわけではない) ○ 今のままじゃあ、みんなついてこれない。 ○ 大切なことは言うけど、伝え方も大切だと気付いた。 ○ 短所を変えることで、もっと成長できる。 <p>自問自答：「これから自分の個性を伸ばしていくために、何を大切にしていきたいですか。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分や友だちのよさを見付ける。 ○ 友だちのよさを手本にすること。 ○ 短所に気付く直そうとすること。 ○ 自己の言動を振り返ること。 			<ul style="list-style-type: none"> ○ 愛菜さんと奈々子さんの長所や短所を教材から読み取り、自分とはどちらに近いかを考えさせ、登場人物と自分を重ねさせる。(板書) ○ ワークシート ○ 多面的に考えさせる。 ○ 自分の長所や相手の長所に目を向けることよさに気付かせる。 ○ 変えるべきもの(短所)と、変えなくてもよいもの(長所)があることに気付かせる。 ○ ワークシート ○ ★誰にでも長所と短所があり、相手のよさを自分の成長につなげられることに共感しているか。
終末	3. 「短所を改め長所を伸ばすために大切にすることは何かを考える。				
	4. 指導者の説話を聞く。	振り返り。			※「○○の末」に名前を付ける。

動画を見てイメージをふくらませる



高速なわとび「八の字」すごい！これに挑戦するのか！



友だちはどう思っているのだろう。あ！自分と同じだ。

